

活用アクションプログラム等の進捗状況について

1. 「認識度を向上させる取り組み」の進捗状況

(1) 地元報道関係機関並びに企業広報担当部局と連携しつつ、新聞等による連載などの手法で「人と暮らしの伊那谷遺産」の認識度向上を図る。

① 中日新聞社による記事掲載

a. 中日新聞(朝刊)の紙面で連載記事掲載が、昨年度に引き続き 4 月 10 日より始まり、次のとおり伊那谷遺産が紹介された。

掲載月日	伊那谷遺産の名称	見出し文
4 月 10 日	中之橋	災害に負けない強固さ
4 月 17 日	坂戸橋	優美な姿誇るアーチ橋
4 月 24 日	治部坂峠	馬と越す街道最高地点
5 月 8 日	駒ヶ根高原の七名石	巨石を運んだ自然の力
5 月 15 日	羽衣崎橋	緑と調和する大アーチ
5 月 22 日	田切地形	隆起した段丘川が浸食
5 月 29 日	伴野堤防	「開墾組」の功績伝える
6 月 5 日	権兵衛峠	伊那谷と木曾谷結ぶ道
6 月 12 日	泰阜ダム	人力が頼りの難工事
6 月 19 日	北川集落跡	三六災害の 爪跡を保存
6 月 26 日	竜東一貫水路	難工事の末に農地潤す
7 月 3 日	滝沢・漆ヶ久保集落跡	災害で消滅 人々の営み
7 月 10 日	小渋ダム	治水の要 堂々とした姿
7 月 17 日	北の沢眼鏡橋	石とれんが 明治の薫り
7 月 24 日	上蔵砂防堰堤	アーチ式で災害に備え
7 月 31 日	美篤青島の「千社参り」	三峰川水害の鎮魂願う
8 月 14 日	平岡ダム	深い溪谷に戦争の記憶
8 月 21 日	深見池	山の緑を映す天然の湖
8 月 28 日	南原橋	天竜川またぐ貫緑の姿
9 月 4 日	太田切川橋場礎石	川中に旅人往来の証し
9 月 11 日	竜西一貫水路	段丘地帯の田畑潤す
9 月 18 日	びったら橋	歩けば川面「びたびた」
10 月 2 日	伊那街道	旅人に便利な中馬の道

10月9日	美和ダム	三峰川を制し流域潤す
10月23日	日向沢砂防堰堤	昭和初期の「農救事業」
11月6日	分杭峠	幕藩の境、癒しの地に
11月13日	阪本天山の墾田の碑	知友の功績伝える大石
11月27日	お志茂の水除け	下流域守る船形の石垣
12月11日	秋葉街道	栄えた記憶を刻む石碑
1月22日	新野の雪まつり	徹夜で日本の芸能絵巻
2月5日	伊那電車軌道（後の伊那電気鉄道）／Ωカーブ	深い谷と標高差縮める

②長野日報社による記事掲載

- a. 長野日報(朝刊)の紙面で連載記事掲載が昨年度に引き続き4月8日より始まり、次のとおり伊那谷遺産が紹介された。

(第2部)

掲載月日	伊那谷遺産の名称	見出し文
4月8日	東天竜一貫水路	アーチ状の造りに工夫
4月29日	姑射橋	「三六災害」契機に代替わり
5月6日	夜泣き石	災害と供養の言い伝え残る
5月13日	三六災最高水位標	地上3~4mに達した濁流
5月20日	河原弁天(後ろ向き弁天)	大岡裁きで決着した境界争い
5月27日	川路郷家屋移転記念碑	三六災害で余儀なく移転
6月3日	美和ダム	日本初の国直轄多目的ダム
6月17日	溝口露頭	中央構造線が見られる崖
6月24日	入舟船着場	通船の歴史と繁栄を語る

(第3部)

掲載月日	伊那谷遺産の名称	見出し文
2月3日	浦・黒河内森林鉄道跡	木材を運搬 住民の足にも
2月10日	時又港	天竜川の通船でにぎわう
2月17日	松川プール跡	川の水を引き入れたプール

③三峰川砂防出張所の事業広報誌による記事掲載

- a. 事業広報誌(三峰川砂防だより)の紙面で伊那谷遺産が紹介された。

掲載月日	伊那谷遺産の名称
9月発行版	芝平石灰岩採掘場跡／芝平集落

④天竜川総合学習館かわらんべの広報誌による記事掲載

- a. 「かわらんべ通信」の5月発行版で「語り継ぐ“濁流の子”文庫」が紹介されるとともに、伊那谷遺産を発展させる活動が紹介された。

掲載月日	伊那谷遺産関連の記事
5月発行版	「語り継ぐ“濁流の子”文庫」についての説明
1月発行版	「バスで巡る伊那谷遺産」の活動紹介
2月発行版	伊那谷遺産候補の紹介「隅之木碑」
3月発行版	2か所にある夜泣き石の紹介「夜泣き石」「出砂原の大石」

⑤その他

- a. 「語り継ぐ“濁流の子”プロジェクト」における寄附金の公募

「語り継ぐ“濁流の子”プロジェクト」において、電子書庫（「語り継ぐ“濁流の子”アーカイブス(仮称)」）の初期整備費用や維持管理費用として、基金を創設し寄附金の公募を実施した。

- b. 「語り継ぐ“濁流の子”プロジェクト」へ寄附された碓田氏への感謝状授与

「濁流の子～伊那谷災害の記録～（出版物）」の編集に携わられた碓田榮一氏より寄附の表明があり、これに対し謝意を表するため、信州大学図書館から碓田榮一氏に対し感謝状が授与され、朝日新聞にて関連記事が掲載された（平成26年7月19日付）。

c. かわらんべ祭りで「語り継ぐ“濁流の子”プロジェクト」を紹介

およそ 1,200 人が訪れたかわらんべ祭り（7 月 26 日開催）にて、「語り継ぐ“濁流の子”プロジェクト」の紹介パネルを展示した。



d. 日本ジオパーク南アルプス大会で伊那谷遺産を紹介するパネルを展示

平成 26 年 9 月 27 日～30 日に伊那市で開催された「日本ジオパーク南アルプス大会」において、伊那谷遺産プロジェクトを紹介するパネルを展示した。



e. 信州大学農学部における「伊那谷遺産」原画展の開催

平成26年9月23日～10月10日に信州大学農学部 食と緑の科学資料館「ゆりの木」において、『片桐美登「伊那谷遺産」原画展』が開催され、長野日報に連載された水彩画の原画が展示された。



f. 駒ヶ根市「ぱとな」における「伊那谷遺産」原画展の開催

平成26年2月2日～2月28日に、こまがね市民活動支援センター「ぱとな」で片桐美登氏原画展が開催され、長野日報に連載された水彩画の原画が展示された。



2. 「情報プラットフォームの整備」の進捗状況

(1) 「人と暮らしの伊那谷遺産の説明資料(個票)」を作成する。

平成26年3月5日に、第5回選定委員会(3月3日)で追加選定した9件の説明資料(個票)を公開した。また、追加更新した3件については、更新版を公開した。

(2) 「人と暮らしの伊那谷遺産」を集積させる、又は進化させることができる仕組みの整備。

事務局ウェブサイトの「伊那谷遺産デジタルコモンズ」のページにて以下のコンテンツの追加更新を予定。

一次データ(基礎資料)

資料の種類
「説明資料(個票)」
「説明資料(個票)」を参照するためのQRコード
「Google 地図情報」
「Google 地図情報」を参照するためのQRコード

二次データ(コンテンツ)

資料の種類
三峰川砂防だより
広報誌かわらんべ
中日新聞 連載記事
長野日報 連載記事
長野日報 連載記事に掲載された水彩画

3. 「伊那谷遺産を巡るガイドツアーの開催」の進捗状況

(1) 伊那谷遺産を活用した「かわらんべ講座」の開催

①「天竜川総合学習館かわらんべ」が実施している「かわらんべ講座」で伊那谷遺産を活用した講座を次のとおり実施した。

- a. 8月30日 ～「生きている化石 ムカシトンボ探し」～
 - ・飯田市大平宿で開催した体験学習にて、大平峠を紹介
- b. 10月25日 ～「ジオパークで伊那谷探検」～
 - ・上蔵砂防堰堤、大西山崩壊地、鳶ヶ巣大崩壊地、安康露頭を紹介
- c. 11月15日 ～「バスで巡る伊那谷遺産」～
 - ・太田切川の井筋、切石（七名石）、Ωカーブ、坂戸橋、理兵衛堤防、お志茂の水除けを紹介
- d. 11月29日 ～「暮らしを守る河川工事の見学」～
 - ・惣兵衛堤防を紹介

